### 数理解析研究所講究録1483

### 非線形波動の数理と応用

京都大学数理解析研究所 2006年4月

### RIMS Kôkyûroku 1483

# Mathematical Aspects and Applications of Nonlinear Waves

April, 2006

Research Institute for Mathematical Sciences

Kyoto University, Kyoto, Japan

## 非線形波動の数理と応用 Mathematical Aspects and Applications of Nonlinear Waves RIMS 研究集会報告集

### 2005年10月26日~10月28日 研究代表者 田中 光宏 (Mitsuhiro Tanaka)

#### 目 次

<u> </u>	
1. 水面波の砕波に対する簡便な数値モデ	ルの開発に向けて
岐阜大・工	田中 光宏(Mitsuhiro Tanaka)
<b>H</b>	佐藤 寛之(Hiroyuki Sato)
2. 海面波動研究の歴史と今後の課題	
一 非線形波動現象の予測の必要性につ	かいて —
東大・工学系	早稲田 卓爾(Takuji Waseda)
3. ある非局所分散性を持つ系での孤立波	の二次元相互作用について
九大・応力研	辻 英一(Hidekazu Tsuji)
Ioffe Inst.	A. V. Porubov
九大・応力研	及川 正行(Masayuki Oikawa)
4. 定常乱流の平均場について	
阪大・基礎工学	澤田 謙(Ken Sawada)
n	鈴木 黄(Takashi Suzuki)
5. Kuramoto-Sivashinsky 方程式における射	影演算子法の有効性
九大・応力研	岡村 誠(Makoto Okamura)
6. 高速に回転する球面上の2次元順圧減	表性乱流
京大・数理研	竹広 真一(Shin-ichi Takehiro)
n	山田 道夫(Michio Yamada)
北大・理学	林 祥介(Yoshi-Yuki Hayashi)
7. 浅水系における非定常なジェット流か	らの重力波放射
— パラメータスイープ実験 —	
名大・工学	杉本 憲彦(Norihiko Sugimoto)
京大・理学	石岡 圭一(Keiichi Ishioka)
8. 大気大循環に観られる $E=mc^2$ の法則	
筑波大・計算科学研究セン	ター 田中 博(Hiroshi L. Tanaka)
9. 大気重力波と気象学との関わり	
東大・理学系	佐藤 薫(Kaoru Sato)
0. 熱音響現象の理解と応用を目指して	
愛知教育大	矢崎 太一(Taichi Yazaki)
1. 温度勾配のある管内気柱の熱音響振動	とその安定性
阪大・基礎工学	杉本 信正(Nobumasa Sugimoto)
n	古田 正福(Masatomi Yoshida)

1	2.	温度勾配のある管の中を伝播する衝撃波に及る	ます熱音	<b>「響</b> 効果	122
		阪大・基礎工学	出口	慎(Shin Deguchi)	
		<b>n</b>	杉本	信正(Nobumasa Sugimoto)	
1	3.	共鳴管内に形成される非対称な音響流		الأخط الجدامية بالخواوي ويهوم وخرجي بالمراجع بجاهد الما	132
		北大・工学	矢野	猛(Takeru Yano)	
1	4.	円筒内に励起される非線形共鳴波のふるまいと	音場の	)幾何学的性質	140
		北大・工学	栗原	央流(Eru Kurihara)	
		<b>H</b>	矢野	猛(Takeru Yano)	
1	6,	二層流体中を伝播する界面孤立波の線形安定性	±	*************************	150
		神戸大・エ	片岡	武(Takeshi Kataoka)	
1	6.	伸縮性を許す渦糸方程式			158
		日大・理工	紺野	公明(Kimiaki Konno)	
		富山大・工	角畠	博(Hiroshi Kakuhata)	
1	7.	Stokes 極限波の一意性に対する数値的検証法			165
		九大・数理学	小林	健太(Kenta Kobayashi)	
1	8.	複雑界面における調和場解析の次元間対応			175
		北大・工学	水田	洋(Yo Mizuta)	
1	9.	円盤形放射状液体シート上の波動の解析			188
		京大・情報学	佐野	雅之(Masayuki Sano)	*
		IJ	船越	満明(Mitsuaki Funakoshi)	
2	0.	周期的拡大縮小管路内を伝わる波動		گِ الله الدان بالدان بران جرار بدر جرار معجود بای شود است این اید از در سال	196
		同志社大・工	水島	二郎(Jiro Mizushima)	
		. <i>II</i>	吉田	成希(Shigeki Yoshida)	
		II .	佐野	太郎(Taro Sano)	
2	1.	ある可積分な高次元 KdV 方程式について -		الان الخاصات عابد مدرجوري وي والسابد بدرد مرم يتجوري . *	210
		富山県立大・工		晃一(Kouichi Toda)	
2	2.	Camassa-Holm 方程式の多重ソリトン解とその	性質		222
		山口大・エ	松野	好雅(Yoshimasa Matsuno)	
2	3.	幾何学的束縛のある格子における非線形波動			
		一 生体高分子、フォトニック結晶、ガラス4			232
		長崎総合科学大・新技術創成研		050 W 50	
2	4.	移動型 Discrete Breather の共鳴現象			
		NTTコミュニケーション科学基礎研		CONTRACT CHARACTERS OF THE CONTRACT OF THE CON	
2	5.	2次元格子系における非線形局在モードの構			252
		阪大・工学		祐介(Yusuke Doi)	19
		<i>y</i>	中谷	彰宏(Akihiro Nakatani)	